

ECALGA

実用化事例紹介

JEITA
EC CENTER

EALGA

【JEITA-VMI】

シャープでの取組み事例

JEITA
ECCENTER

— 目 次 —

1. 会社概要

2. 全社資材部門の体制

3. 資材部門の重点テーマ

4. 【JEITA-VMI】

シャープでの取組み事例

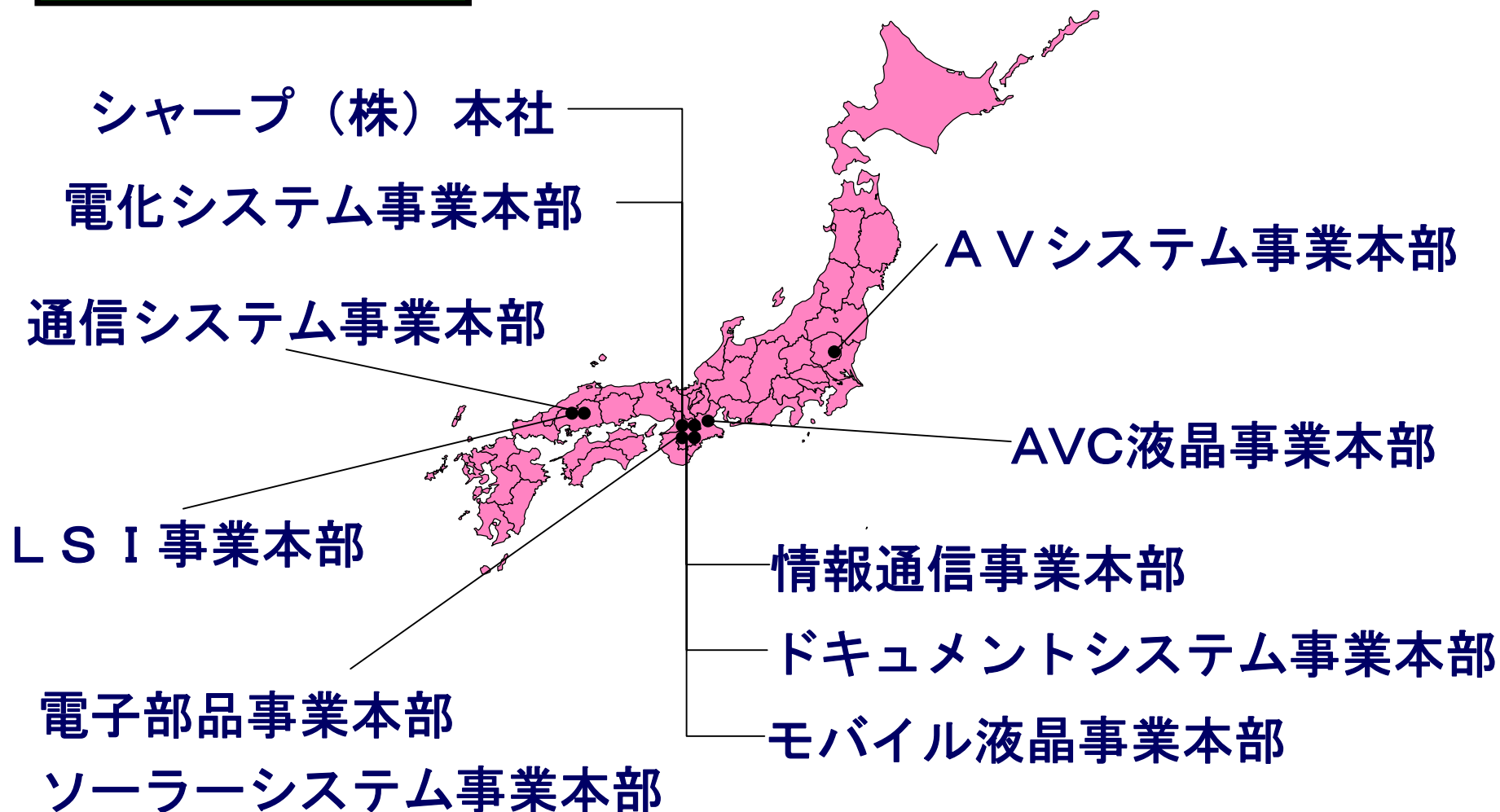
1. 会社概要

会社概要

- ・ 社 名 シャープ株式会社
- ・ 本社所在地 大阪市阿倍野区
- ・ 創 業 1912年9月15日 東京・本所
- ・ 資 本 金 204,675百万円 (2005/3)
- ・ 売 上 高 2,084,928百万円 (2005/3)
(連結 : 2,539,859百万円)
- ・ 従 業 員 23,200名 単体 (2005/7)
(グループ : 55,100名 国内 : 31,500名
海外 : 23,600名)
- ・ 事業所組織 国内10事業本部
- ・ 海外生産拠点 : 13カ国23社

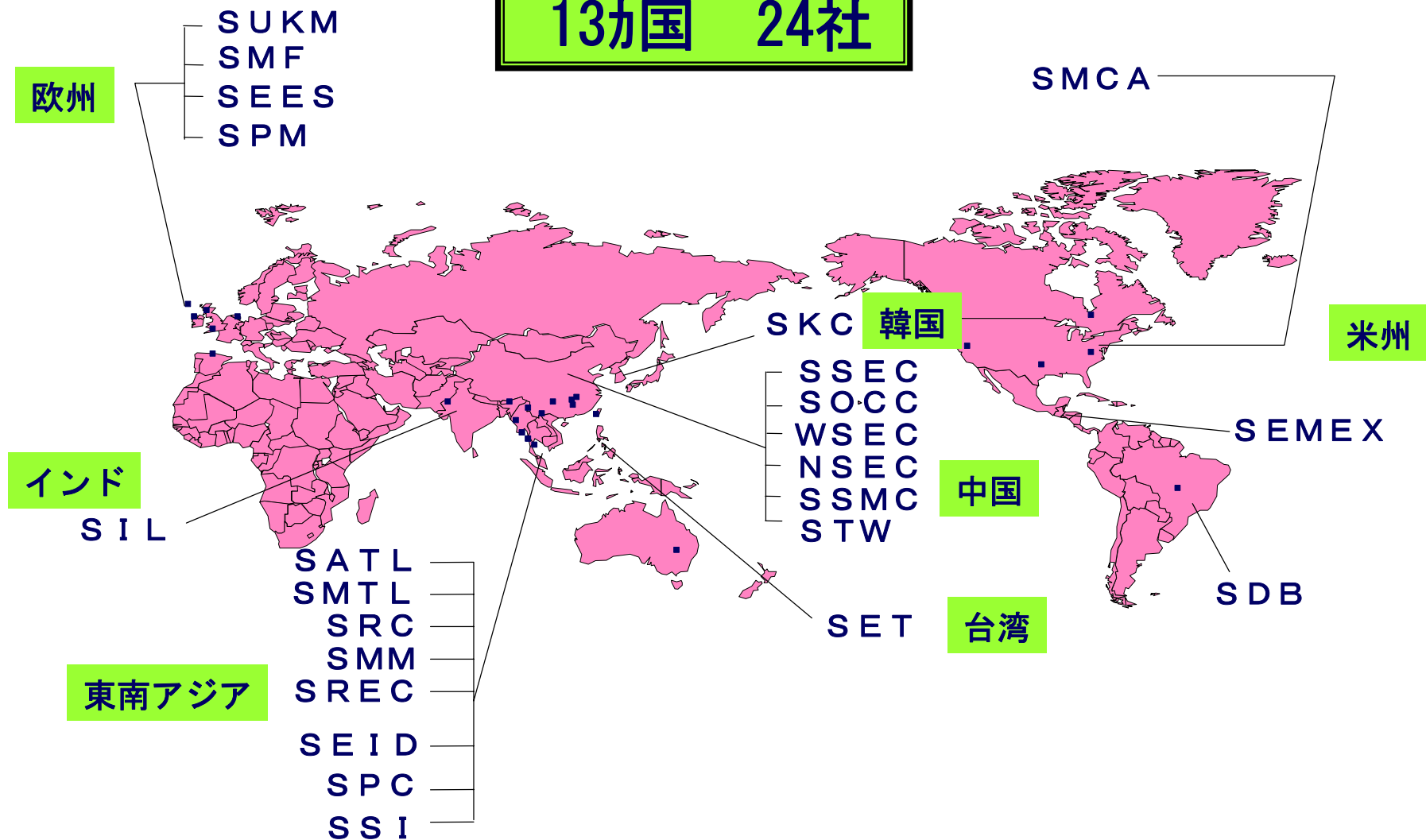
日本国内生産拠点

10事業本部



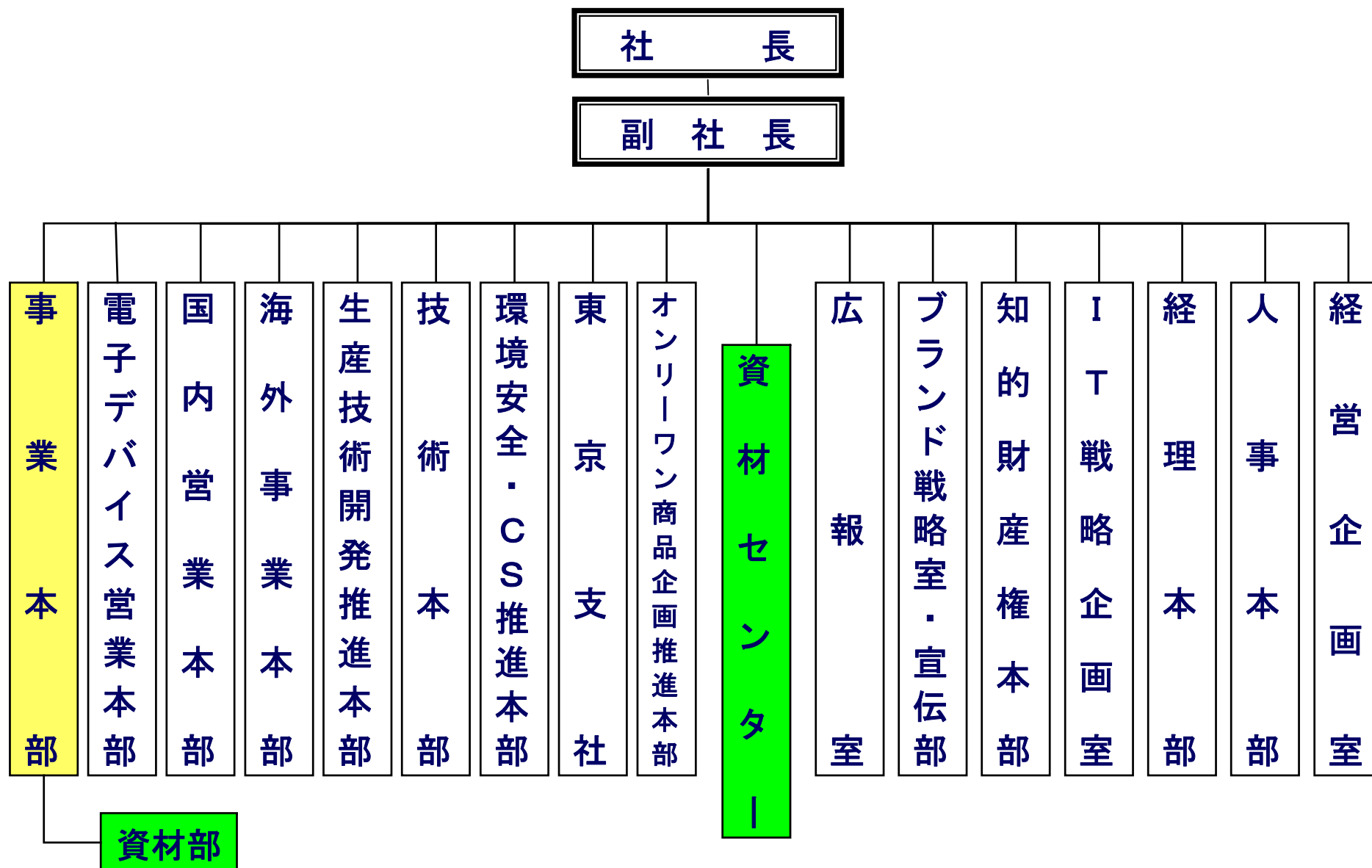
主要海外生産拠点

13カ国 24社



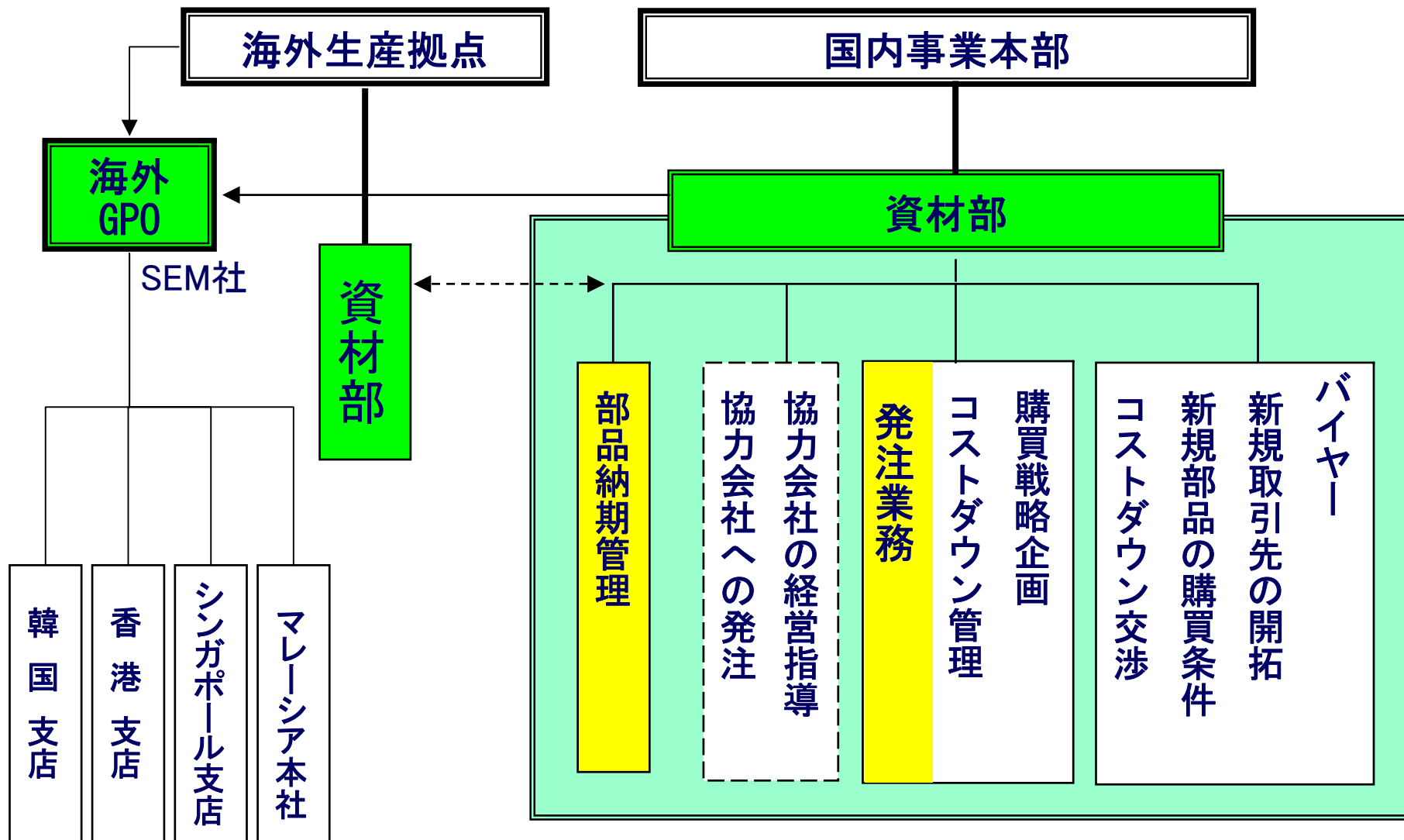
2. 全社資材部門の体制

シャープ株式会社組織図



海外・国内資材部の役割

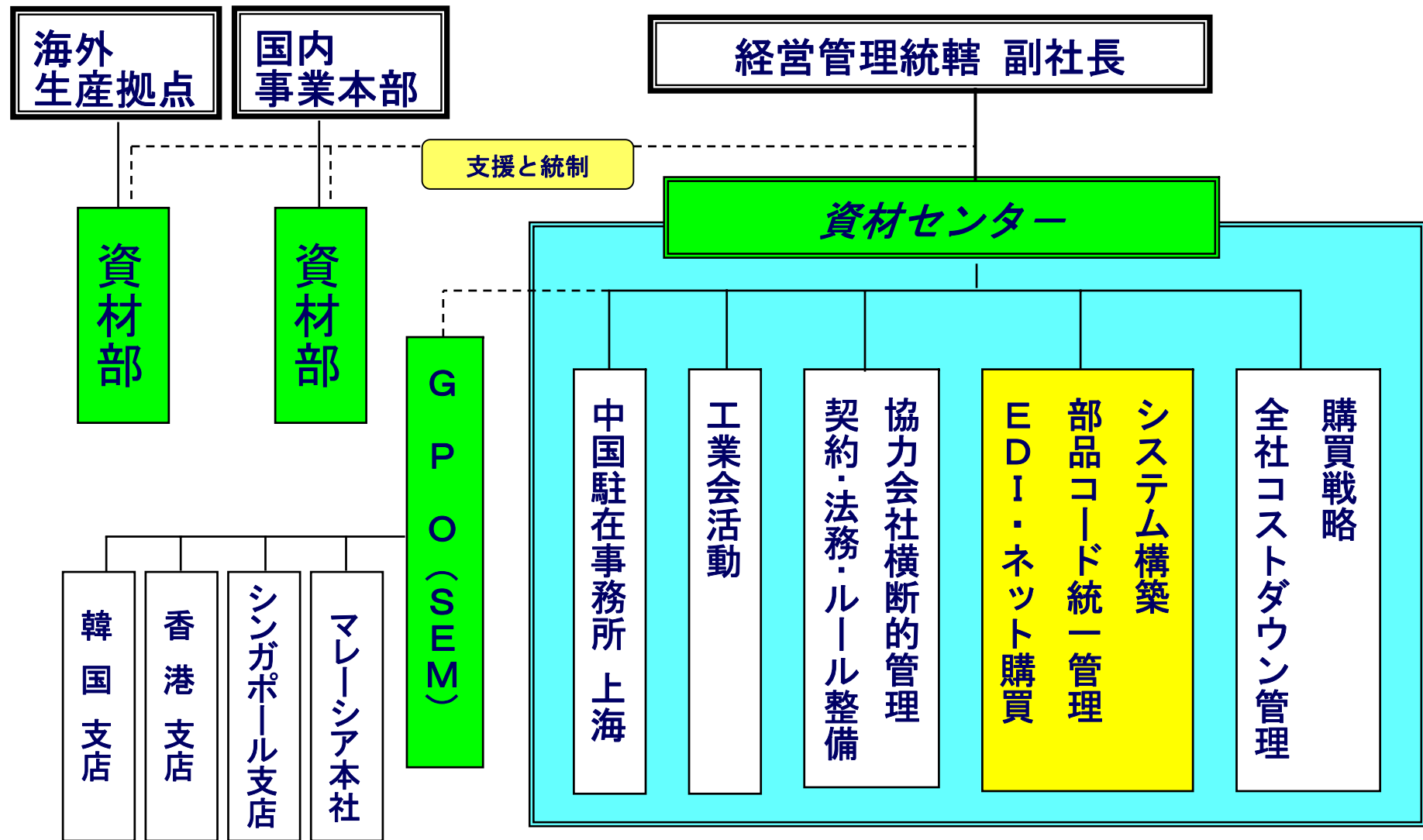
GPO : Global Procurement Office



国内資材部門の体制

生産事業本部	主要商品	資材部門
AVシステム事業本部	液晶テレビ、音響	栃木
通信システム事業本部	携帯電話、FAX	東広島
電化システム事業本部	空調、冷蔵庫、白物家電	大阪・八尾
情報通信事業本部	パソコン、POS、PDA	奈良・郡山
ドキュメントシステム事業本部	複写機、プリンター	
ソーラーシステム事業本部	太陽電池	奈良・葛城
電子部品事業本部	ピックアップ、レーザー	大阪・田辺
LSI事業本部	CCD、IC、Fメモリ	広島・福山
(液晶事業統轄)	液晶(パネル部材)	三重・多気
モバイル液晶事業本部	中小型液晶、システム液晶	天理・多気
AVC液晶事業本部	大型液晶	三重・亀山

資材センターと全社資材部門の体制

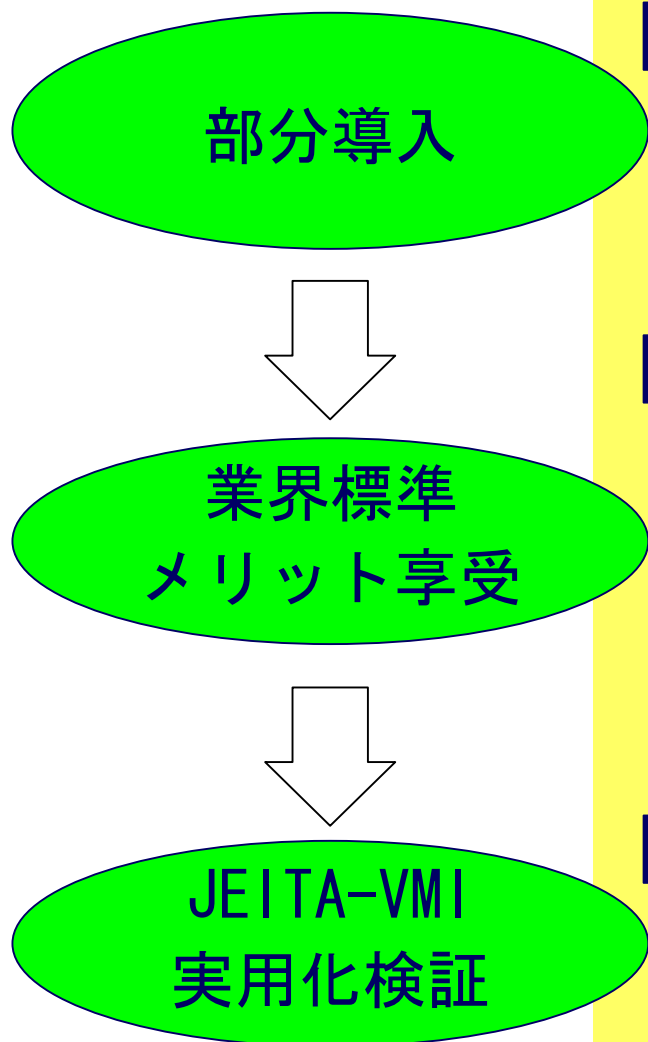


3. 資材部門の重点テーマ

資材部門の中期重点テーマ

- **グローバル購買推進**
 - 国内外グローバルな購買活動の実践
- **購買サポートシステム構築**
 - 開発購買・調達支援システム
- **取引先とのパートナーシップ強化**
 - パートナーシップ先とのコラボレーション
 - グリーン調達の推進
- **人材育成・ビジネスリスク管理・情報基盤拡充**
 - 資材マン能力開発・ビジネスリスクの組織的管理
 - グローバル資材データベース整備

4. JEITA-VMI シャープでの取組み事例



【JEITA-VMI 取組み前の状況】

- ・ 一部事業本部の特定部品に限定
- ・ 異なった方式での導入

【狙い】

- ・ シャープのVMI取引標準モデルの構築
- ・ シャープ/ベンダー双方の管理コストやシステム開発コストの最適化
- ・ 効率的な投資と短期間での導入拡大

【実施策】

- ・ パイロット工場にて実用化検証
- ・ 「効果の確認」「課題の抽出」等

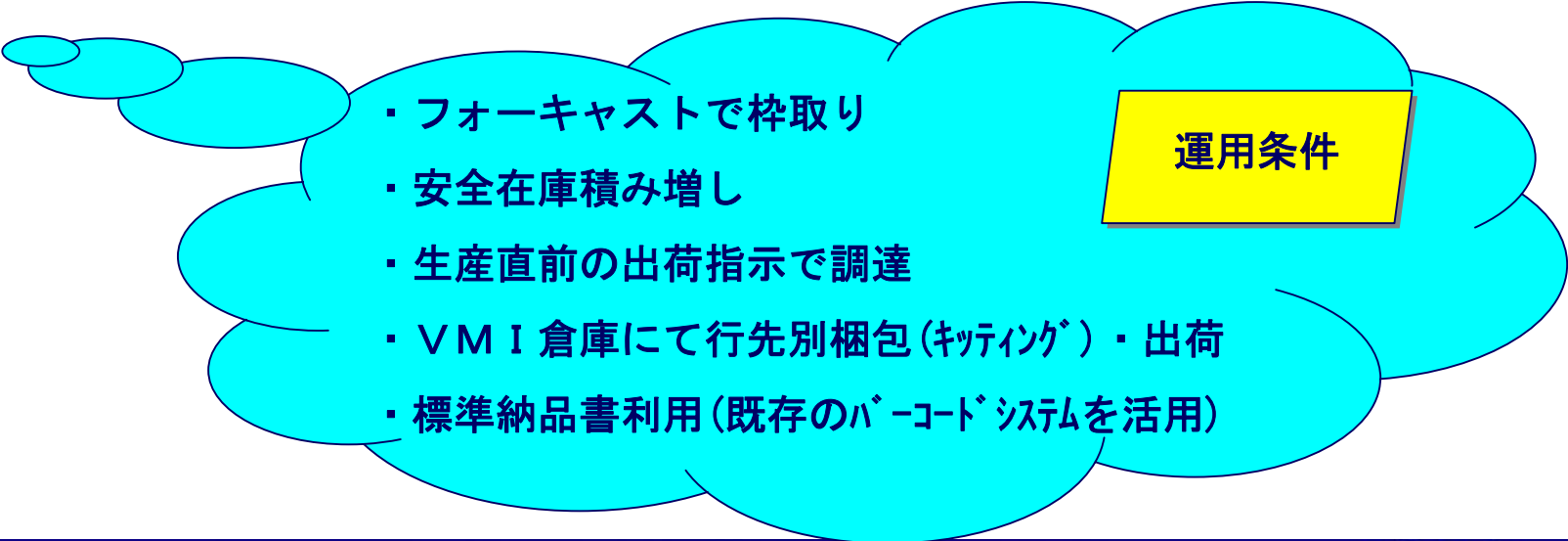
パイロット工場：AVシステム事業本部(栃木県)

期待効果・事前検討事項

	発注者(シャープ)	受注者(お取引先)
期待効果	<ul style="list-style-type: none"> ・調達オペレーションの軽減 ・出荷リードタイムの短縮 ・部品倉庫業務のアウトソーシング 	<ul style="list-style-type: none"> ・小口納品の解消 ・出荷作業の軽減 ・緊急納品(配送)の軽減
事前検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・下請取引への適合(受領拒否の防止) ・在庫の引取り責任範囲の明確化 ・倉庫業者の能力(システム、入出庫・在庫管理精度) ・倉庫業者費用(倉庫利用料・運送費用等)の負担 	

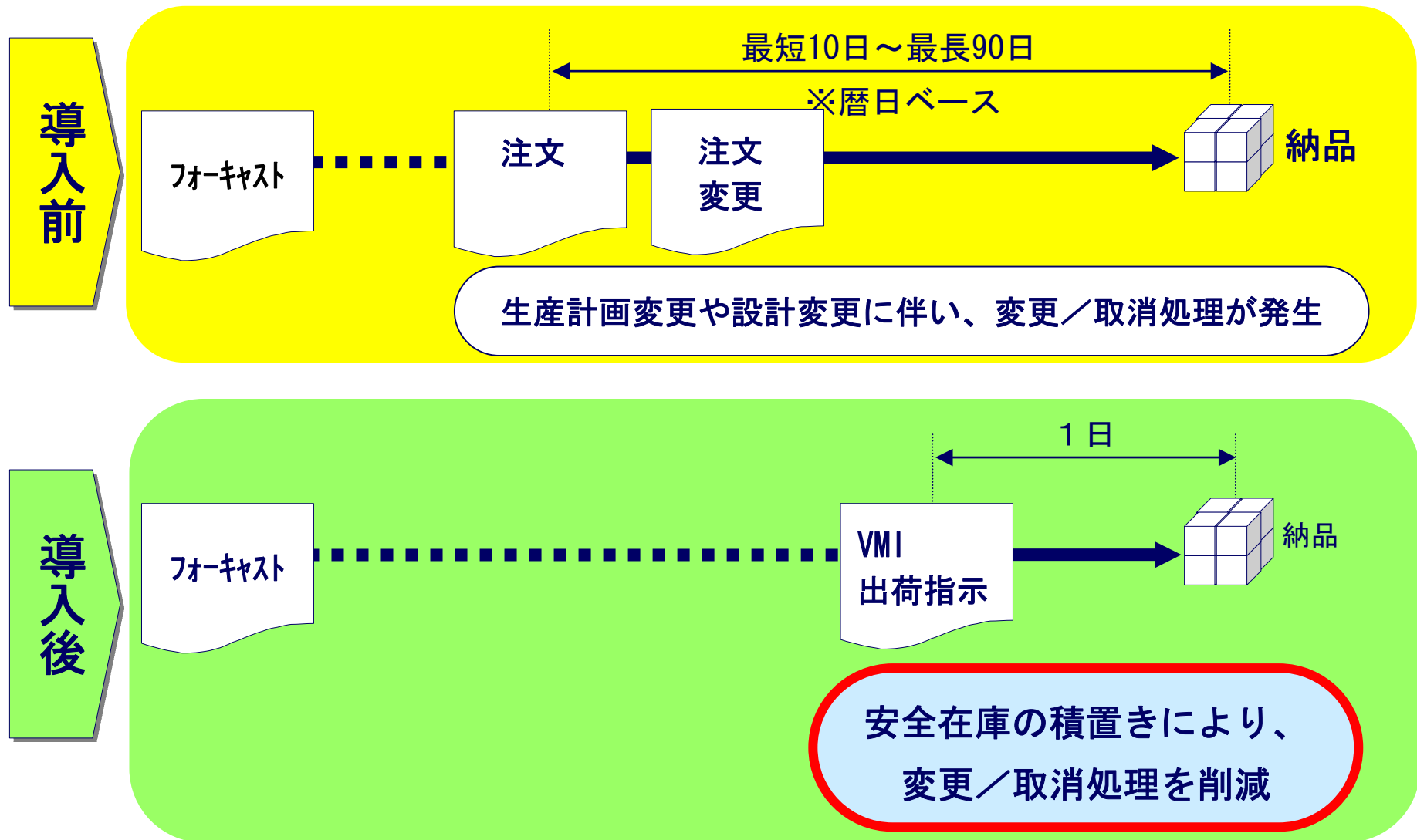
調達における効率の追求

1. 調達オペレーションの軽減
2. 出荷リードタイムの短縮
3. 部品倉庫業務のアウトソーシング

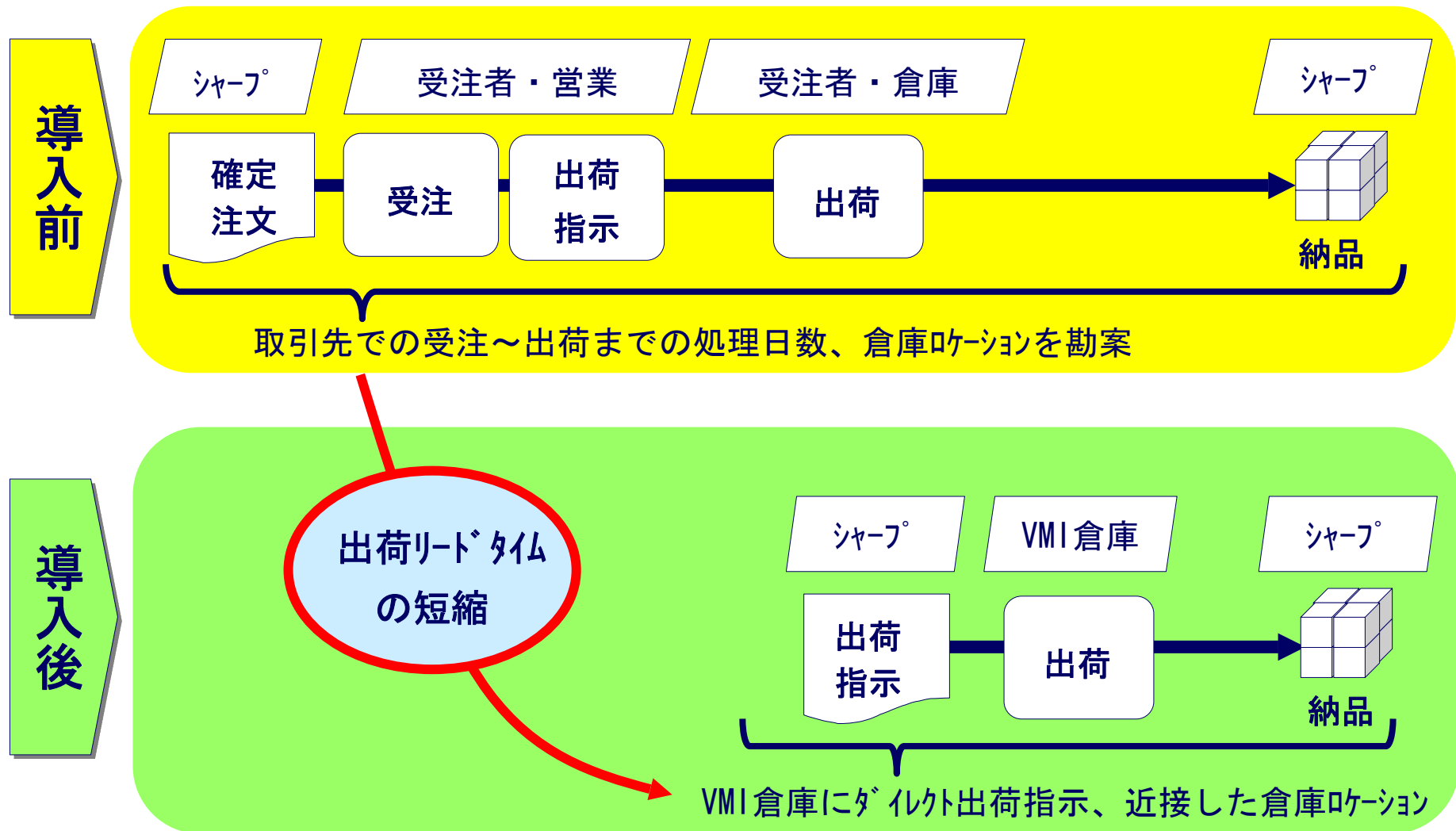
- 
- ・フォーキャストで枠取り
 - ・安全在庫積み増し
 - ・生産直前のお荷指示で調達
 - ・VMI倉庫にて行先別梱包(キッティング)・出荷
 - ・標準納品書利用(既存のバーコードシステムを活用)

運用条件

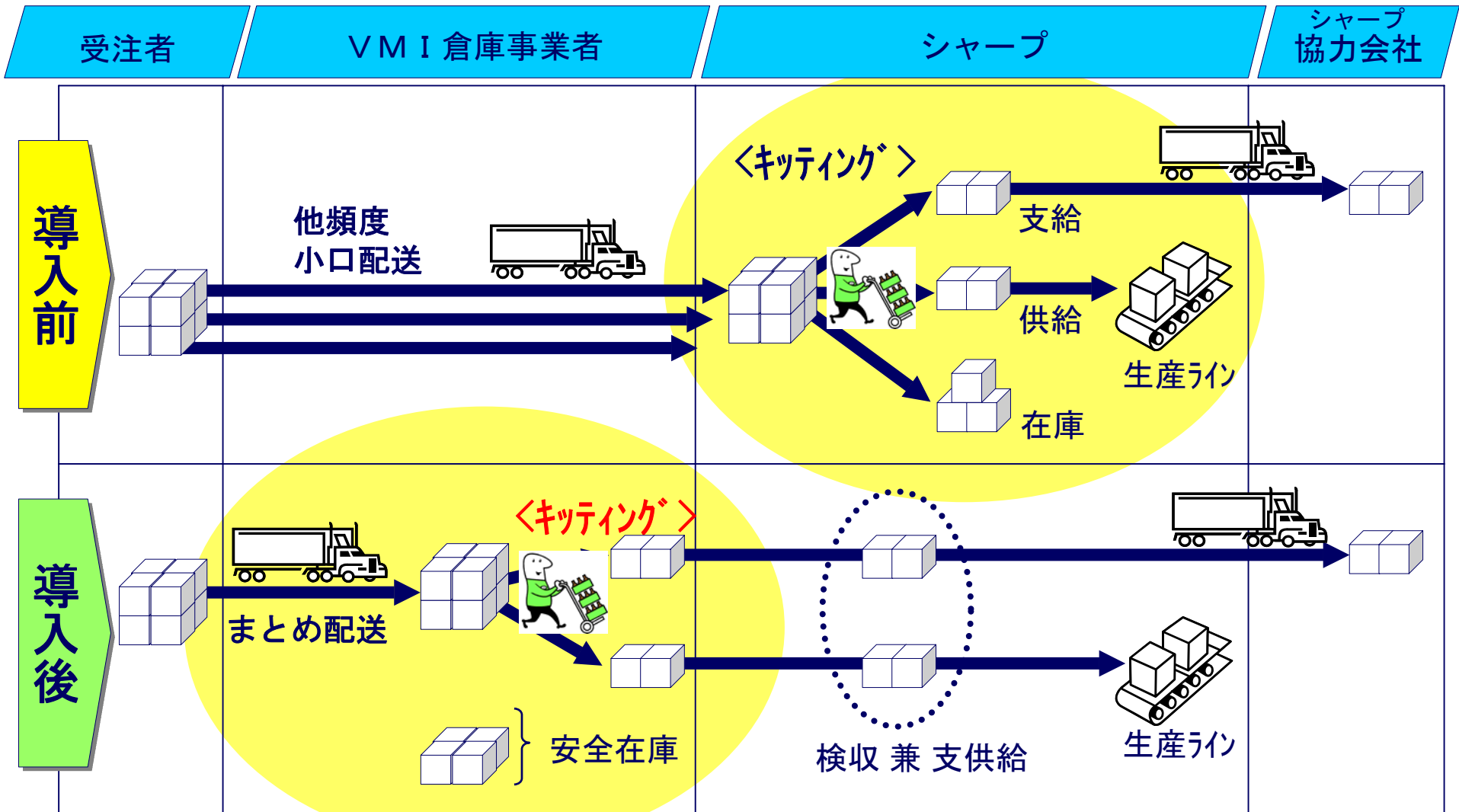
導入の狙い(調達オペレーションの軽減)



導入の狙い(出荷リードタイムの短縮)



導入の狙い(部品倉庫業務のアウトソーシング)



【受注者】

- ・ アルプス電気株式会社様
- ・ 京セラ株式会社様
- ・ TDK株式会社様
- ・ 株式会社村田製作所様

【VMI 倉庫事業者】

- ・ 株式会社アルプス物流様

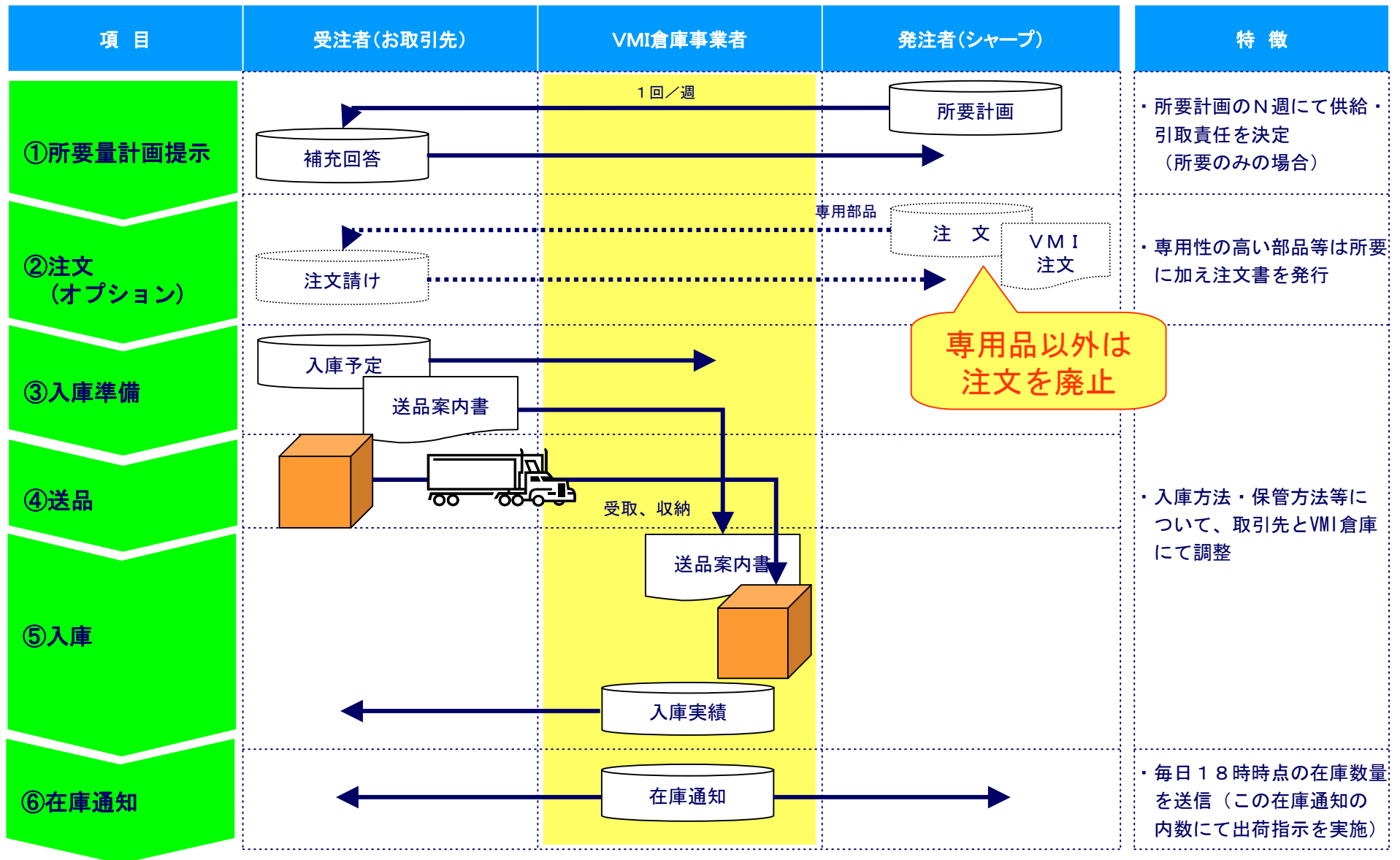
【ASP 事業者】

- ・ 富士通株式会社様

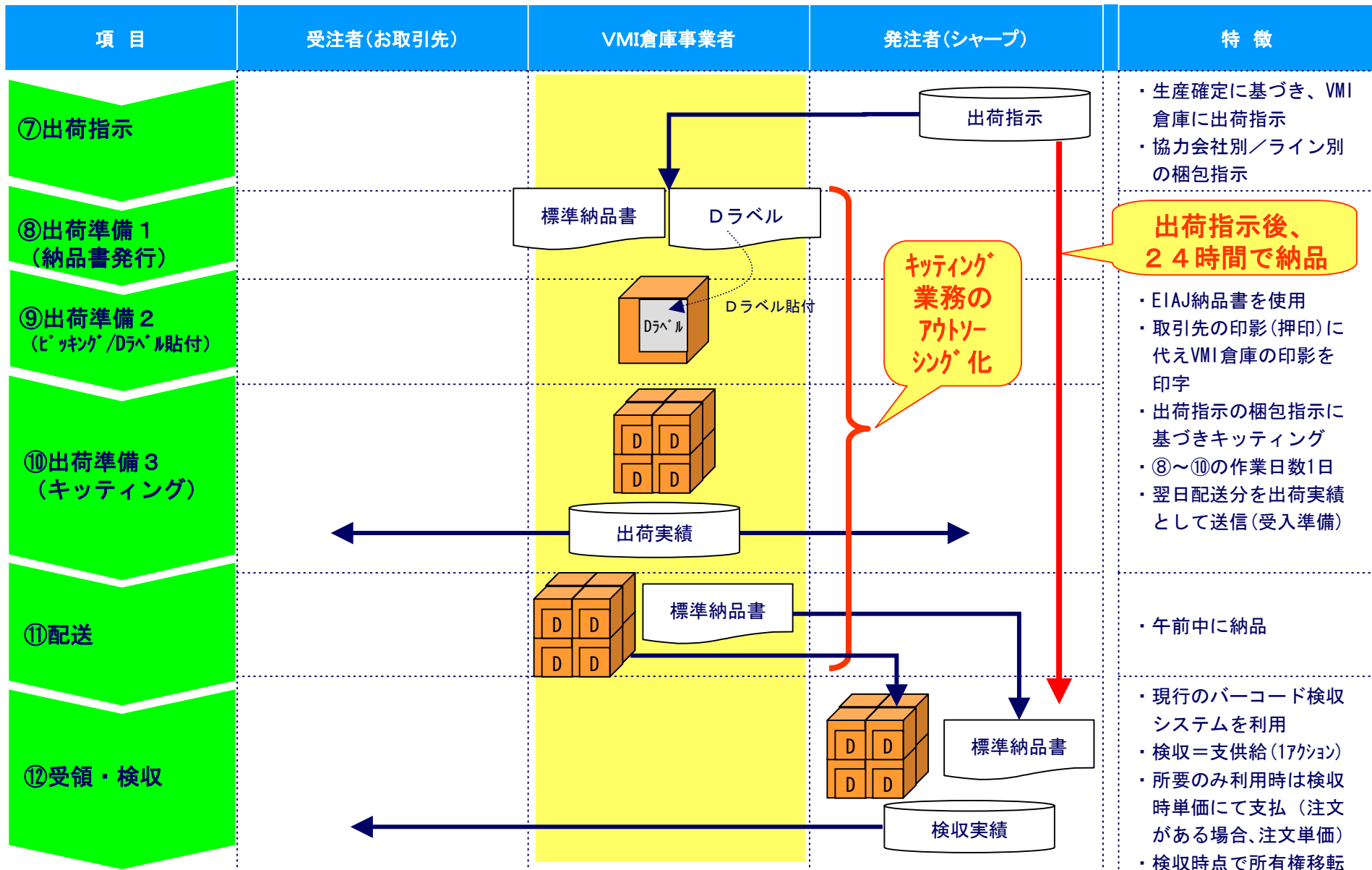
【発注者】

- ・ シャープ株式会社








シャープVMIフロー



シャープVMIフロー



概略スケジュール

項目	2004年度		2005年度		備考
	上期	下期	上期	下期	
事前検討会	 計3回				・縮小メンバーでの事前協議
合同検討会	 計7回				・システム／業務フロー確認 ・対象部品の協議
個別検討会	 計2回				・供給／引取の協議 ・VMI倉庫費用負担方法の協議
テスト			 約1ヶ月		・実際のシステムにて検証 ただし、部品は動かさず、伝票のみ発行
本番準備			 約3週間		・注残確認 ・VMI倉庫積置き在庫数量調整
実用化本番			 9月12日～		・実際の部品を動かす
評価(予定)					

主な調整事項

項 目	お取引先	VMI倉庫	ASP	シャープ
供給責任・引取責任ルール制定	○			○
VMI覚書の制定				○
対象部品の決定	○			○
部品単位に「供給・引取責任」「手配パターン」の決定	○	△		○
費用負担交渉	○	○		○
契約書締結	○	○	○	○
メッセージ毎の使用情報項目調整	○	○	○	○
データ送信タイミング・内容調整	○	○	○	○
納品タイムチャート、キittingルール		○		○
納品書の運用方法変更(納品書発行者の変更)	○	○		○
VMI倉庫への積置き数量	○	△		○

今後の拡大計画

【拡大計画】

- ・パイロット工場での「品種」「取引先」拡大
- ・輸入部品のVMI化
- ・他本部への横展開
- ・海外拠点への展開



【業務上の整備事項】

- ・VMI倉庫費用の負担方法
- ・契約書締結方法(二社契約・三社契約)

EALGA

JEITA
ECCENTER